

1. 消防組織・体制

1. 消防機関

平成24年4月1日現在における市町村消防機関の設置状況は次表のとおりである。

消防本部				消防団		
消防本部	消防署	出張所	消防職員数	消防団数	分団数	消防団員数
31	87	120	7,773	48	808	27,069

県下54市町村(36市17町1村)全てが、常備消防体制をとっている。

常備消防体制を設置主体別にみると、31消防本部のうち23消防本部(22市2町)(※)は市町単独で設置し、8消防本部は共同処理による一部事務組合(14市15町1村)を設置している。(※)委託団体含む

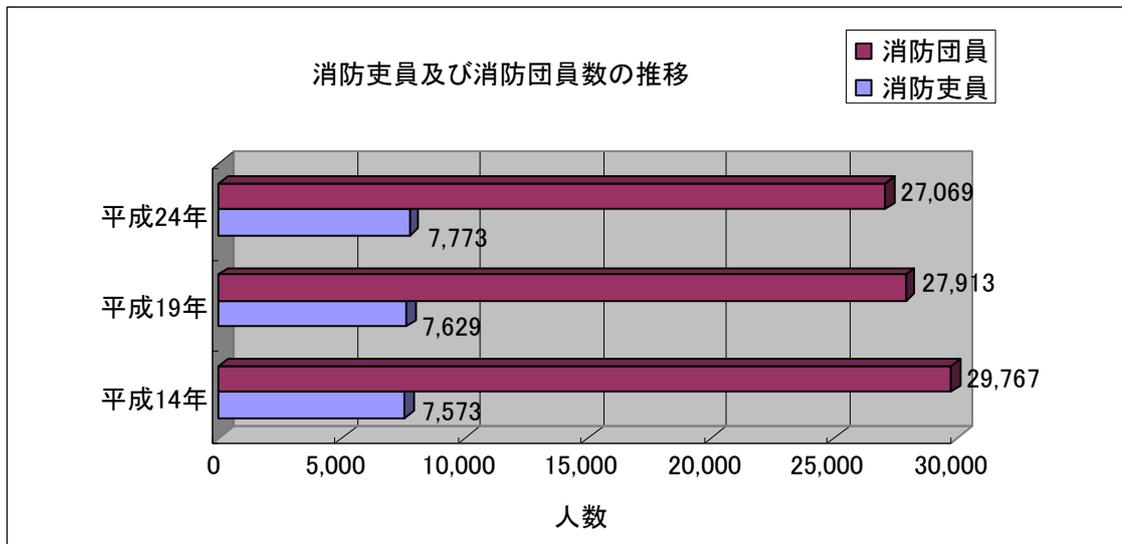
消防団は全て非常備消防団であり、整理統合が進んでいる。

2. 消防の人員

(1) 消防職員

平成24年4月1日現在の消防職員は7,810人、うち消防吏員は7,773人である。

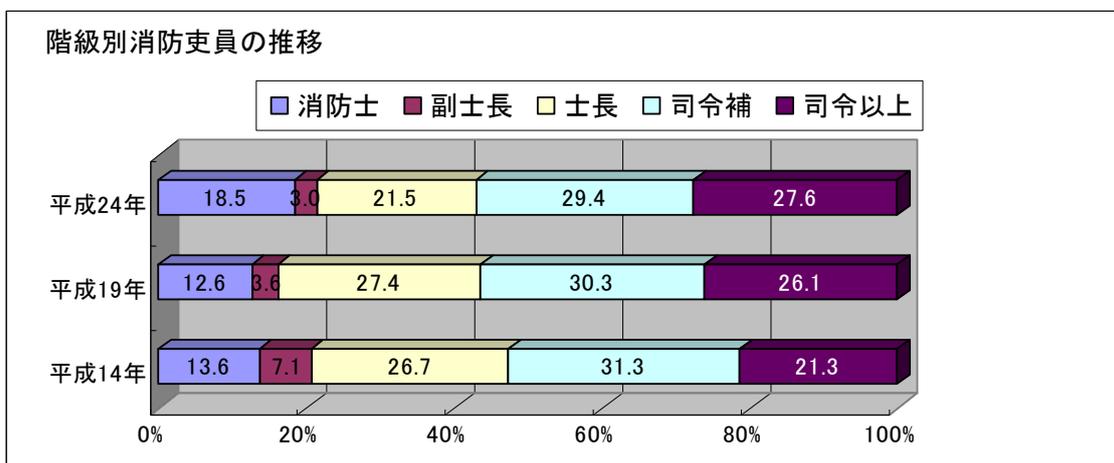
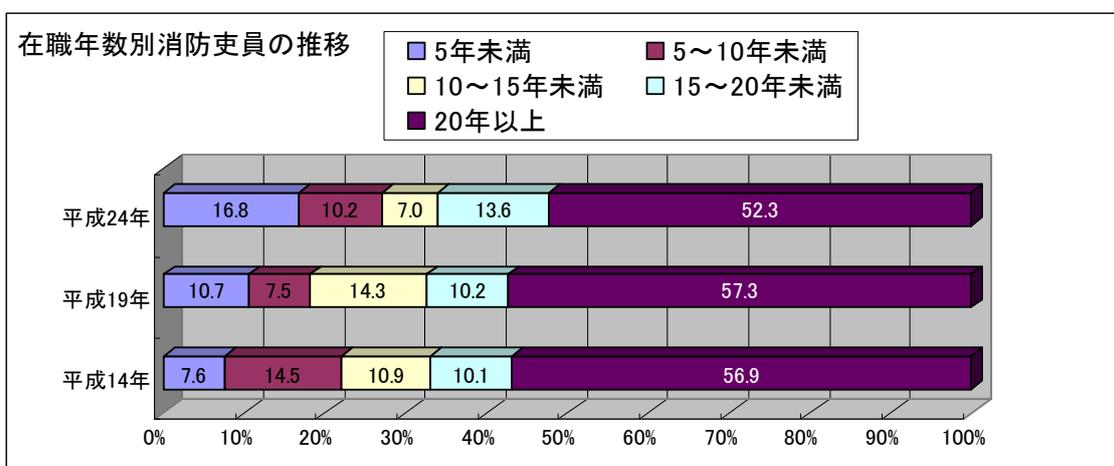
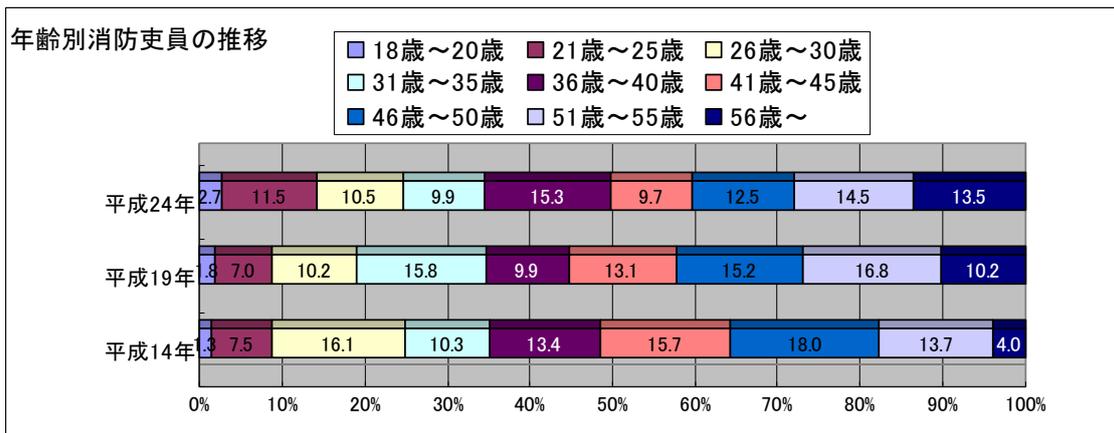
消防吏員数の状況は次のグラフに示すとおりであり、常備消防体制の拡充とともに、毎年、増加している。



消防吏員を年齢別、在職年数別及び階級別に示すと、各々次のグラフのとおりである。年齢別にみると、36~40歳が15.3%と最も多くなっている。

また、消防吏員の平均年齢は40.9歳で昨年より0.1歳下がっている。

在職年数別にみると、5年未満の在職者は16.8%であり昨年と同様である。



(2) 消防団員

平成24年4月1日現在の消防団員数は27,069人であり、前年と比較して69人減少した。これを10年前と比較すると2,698人(9.0%)減少している。

消防団員を年齢別、在職年数別及び階級別に示すと、各々次のグラフのとおりである。

35歳以下の団員が全体の約5.3割、在職年数10年未満の団員が全体の約6.1割を占めているが、この割合は減少していく傾向にある。

また、団員の平均年齢は35.4歳で、昨年より0.6歳高くなっている。

